

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和08年01月15日

計画の名称	3 世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」の観光周遊支援											
計画の期間	平成31年度 ~ 令和05年度 (5年間)										重点配分対象の該当	
交付対象	和歌山県											
計画の目標	世界遺産に指定された「熊野古道」をはじめとし、点在する多くの観光資源を活かした地域の活性化を図るため、観光拠点と県内外からの観光客とを結ぶ高速道路IC等への連携強化や点在する観光拠点間の円滑な移動のための道路整備により、当該地域を訪れる観光客のゆとりある快適な周遊を支援する。											
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	7,200	A	7,200	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0 %

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H30末)	中間目標値 (H33末)	最終目標値 (H35末)
1	観光施設周遊時間短縮率(%) [観光施設等への幹線道路からのアクセス道路整備により、観光施設間の移動時間(周遊時間)が短縮され、周遊範囲が拡大することを時間短縮率で評価する。] 観光施設等への幹線道路からアクセス道路整備により、観光施設間の移動時間(周遊時間)が短縮され、周遊範囲が拡大することを時間短縮率で評価する。 [観光施設周遊時間の短縮率(%)] = { [要素事業の現道での所要時間(分)] - [要素事業供用による所要時間(分)] } / [要素事業の現道での所要時間(分)] × 100	0%	2%	24%
2	観光客のゆとり時間の増加率(%) [幹線道路へのアクセス時間の短縮による円滑な移動が可能となり、観光施設間移動時間にゆとりが持てることを、観光客の走行人・時の削減効果(率)で評価する。] 幹線道路へのアクセス時間の短縮、案内標識整備等による円滑な移動が可能となり、観光施設間の移動時間にゆとりが持てることを、観光客の走行人・時の削減効果(率)で評価する。 [観光客のゆとり時間増加率(%)] = { [要素事業の現道による所要時間(時) × 当該市町村観光客数(千人/年)] - [要素事業供用による所要時間(時) × 当該市町村観光客数(千人/年)] } / [要素事業の現道による所要時間(時) × 当該市町村観光客数(千人/年)] × 100	0%	2%	26%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H31	R02	R03	R04	R05			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
道路事業	A01-001	道路	一般	和歌山県	直接	和歌山県	都道府 県道	改築	(一)長井古座線 中里 ~上田原(3-A3)	現道拡幅 L=3.4km	那智勝浦町~串 本町						3,300	-	
	A01-002	道路	一般	和歌山県	直接	和歌山県	都道府 県道	改築	(一)白浜久木線 庄川 ~久木(3-A12)	バイパス整備 L=4.7km	白浜町						3,900	-	
												小計						7,200	
												合計							7,200

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制 和歌山県県土整備部にて評価	事後評価の実施時期 令和7年度
	公表の方法 和歌山県ホームページにて公開
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	令和2年度より他の社会資本総合整備計画に移行したため、目標値を達成できなかった。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
未完成の事業については、引き続き社会資本整備総合交付金等を活用し、観光拠点と県内外からの観光客とを結ぶ高速道路IC等への連携強化や点在する観光拠点間の円滑な移動のための道路整備により、当該地域を訪れる観光客のゆとりある快適な周遊を支援する。	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	観光施設周遊時間短縮率	
	最終目標値	24%
	最終実績値	0%
2	観光客のゆとり時間の増加率	
	最終目標値	26%
	最終実績値	0%